

問3 箴言3：1～10を読んでください。なんとすばらしい約束でしょう。「それぞれの収穫物の初物」とは何を意味するのでしょうか。

神は、私たちの所有物の管理において、神を第一とするよう求めておられます。これは、すべてのものが神の所有物であることを認め、神が私たちを養ってくださるといふ信仰を示すものです。しかし、それ以上に、私たちが神を第一とするなら、神は残りのものを祝福すると言われます。私たちにとって、そうすること、つまり、神を第一にすることは、信仰の行為であり、信頼の行為であり、心を尽くして主を信頼し、自分の分別に頼らないことの表明です（自分の分別に頼らないことは特に重要です。なぜなら、私たちが理解できないこと、意味のわからないことはしばしば起こるからです）。

また、十字架ほど、神と神の愛をより信頼するように、私たちを駆り立てるものはありません。創造主（ヨハ1：1～4）であり、また支え主（ヘブ1：3）であるだけでなく、^{あがな}贖い主（黙5：9）として、私たち1人ひとりが、イエスにあって何を与えられているかを理解するとき、私たちが持っているすべてのものの初穂を神にお返しすることは、実に私たちができる最も小さな行為にすぎません。

「神は十分の一を御自分の物として要求されるだけでなく、それを神のためにどのように取っておくべきかを告げられる。『それぞれの収穫物の初穂をささげ……て主を敬え』。これは、自分のために金銭を費やして、それから、たとえ、正直な十分の一であっても、その残りの中からささげてはならないことを教えている。神の分は第一に取り分けるべきである」（『祝福に満ちた生活——スチュワードシップに関する勧告』95、96ページ）。

神は、もし私たちが神を第一とするなら、「あなたの倉に穀物を満たし」と言われます。しかし、それは奇跡によって起こるものではありません。あなたがある朝、目を覚ますと、あなたの倉や桶が満ちている、というようなことではないのです。

その代わり聖書には、良い管理、入念な計画、経済的責任についての原則が数多く書かれていますが、神が私たちに要求されていることを行う忠実さが、私たちの第一の、そして最も優先すべき責任です。

しかし、私たちが神に忠実であることを求めながらも経済的困難にあるとき、どのように神とその約束に信頼することを学ぶことができるでしょうか。